

# 見守り・集い・生活支援 団体ヒアリングまとめ

平成 27 年 1 月 2 7 日

豊明市地域包括ケア連絡協議会 見守り生活支援部会



豊明市高齢者福祉課

## ◆ 趣 旨

2025年問題に向けて、豊明市における地域のみなさまの見守りや生活支援体制をより一層強化していく必要があります。

そのために、すでに活動を推進している団体の情報の共有、「自助・共助・公助」の「輪」ができるきっかけを作ることが必要と考え、団体ヒアリングを行いました。

## ◆ ヒアリング内容

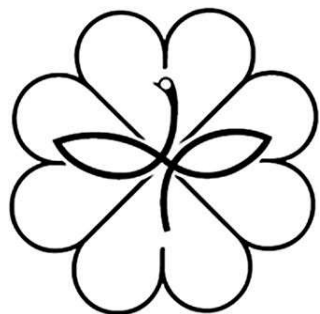
- ・ 団体概要
- ・ 活動内容
- ・ 課題
- ・ 今後の取組み



# 目 次

ヒアリング No.	所 属	氏名 (敬称略)	項
1	民生児童委員	岩名 昭文	4
2	豊明市社会福祉協議会	小林 登代子	5
3	豊明市シルバー人材センター	中村 聡裕	6
4	区長連合会(市民代表)	三浦 三省	7
5	ボランティア代表(落合みまもりたい)	杉山 辰蔵	8
6	NPO 法人さわやかとよあけ	三和 尚子	9
7	南医療生活協同組合	川津 昭美	10
8	生活協同組合コープあいち	門谷 智志	11
9	みかんの会	近藤 理子	12
10	豊明健康づくりの会	木村 文柄	13
11	JA あいち尾東 豊明たすけあい けやきの会	加藤 雅博 酒井 勝美	14
12	地域交流館いつみ	長山 加代子	15
13	坂部生活支援ボランティア	大路 勉	16
14	桶狭間生活支援見守り隊	鈴木 春徳	17
15	こまの会	尾崎 昭子	18

## 民生児童委員 岩名さん「ヒアリング No.1」



### ◆ご意見

- ・元気高齢者の地域貢献

就労等の担い手となる機会を逃さないよう、既存の事業内容の変更を。

ex.市の65歳になられた方へのお見舞い品事業

→各団体の就労支援やボランティア活動、サロンや趣味グループの紹介、  
区町内会、民生児童委員、老人会等の活動情報支援パックの提供へ

- ・独居高齢者の見守り活動で、入院入所時は情報がないと突然の不在で不安

→見守りや生活支援に対する情報提供は条例制定も視野に検討する

- ・見守りを市でやるのか社協でやるのかよくわからない

→市や社協で目的が違えど高齢者の生活支援には変わらない。

見守り活動が始めやすくできるよう、助成金申請方法や規約作成など  
見守り立上げパックを作り情報共有する

- ・退院後の地域ケア会議の参加、他部会の情報共有

精神の場合、相談窓口は社協のフィット。病院から在宅ケア時は、医師、薬剤師、社協、市に民生委員も含めて地域ケア会議を行う。高齢者の在宅ケア時は声がかからない。そういった場を設けないのか。

→病院からの在宅ケア時、地域の見守りが必要な時は必ずある。地域ケアなのに地域の方が参加できていないのは高齢者福祉分野が遅れていると感じる、入退院調整部会でも検討していく。

- ・他の部会の情報も共有し、民生委員にできることを一緒に考えていきたい。



#### ◆団体概要

- ・誰もが安心して暮らすせる福祉のまちにするため、「どんな地域課題があるか」、「その課題解決のためには、どうしたらよいのか」を考え活動
- ・部会を開催し『住民の皆さんの声（意見）』を大切にし、皆さんと一緒に事業をすすめます
- ・「地域福祉」を財政面から協力いただく会員募集事業
- ・訪問介護やケアプラン作成、生活上の困りごとに対応する総合相談
- ・高齢者や障がい者の在宅生活をお手伝いする地域福祉活動
- ・住民の生活を支える日常生活自立支援事業
- ・在宅生活を支援する各種貸出し給付等



#### ◆活動内容

##### 見守り

- ・乳酸菌飲料配布による安否確認訪問（市から委託） 約600名利用
- ・緊急電話設置費等助成による救急搬送含む親近者への通報

##### 地域の集い

（市から委託）約400名利用

- ・ふれあいサロン事業（地域6地区、独居高齢者対象）

##### その他

- ・支えあいまちづくり助成金関係  
サロンや見守り・生活支援活動などの支援として上限2万円  
福祉委員会を設置するモデル事業として上限10万円
- ・ボラセンティアセンター  
地域に貢献するボランティア団体の育成各種講座開催
- ・いきいきこれから塾のセカンドライフデビュー講座等

## 豊明市シルバー人材センター



### ◆団体概要

- ・事務局 7 名
- ・会員数 4 3 5 名（男性 7 5 %、女性 2 5 %）平均 7 2、3 才
- ・高齢者の豊かな経験と能力を生かし、社会参加を通じて自らの生きがいの充実や福祉の増進を促進し、活力ある地域社会作りに貢献することを目的
- ・組織の運営については「自主・自立、共働・共助」の基本理念に基き会員によって自主運営されています。
- ・センターは会員が希望する仕事を把握し、それにあつた仕事を会員に代わって 発注者から引き受け会員に提供し、会員が自分で選択してその仕事に従事します。
- ・アクティブシニアボランティアポイント制度適用

### ◆活動内容

#### 生活支援

- ・高齢者支援隊事業（H 2 5 年度 4 0 件利用）  
高齢者や障がい者のちょっとした困りごとを解消するために、安価な費用でお手伝いするサービス  
(電球・蛍光灯の交換、枝払い、清掃袋詰め、ごみ出し、話し相手 など)

### ◆課題

- ・高齢支援隊を希望する担い手が、まだ少ない

### ◆今後について

- ・高齢者支援隊事業活性化のために、市と協力して PR の強化を図りたい

# 区長連合会



## ◆団体概要

- ・住民が暮らしていく上で、ごみ置き場の設置や管理、地域美化、交通安全、防犯、防災など、多種多様なひとりでは解決できない課題を解決し、住民同士が、仲良く助け合って暮らすためにお祭りや様々なイベント等も行う。
- ・地域の課題を地域で解決し、「住みよいまち」を築いていく

## ◆活動内容

- ・騒音対策、カーブミラー等設置・倒壊対策、豊明インター付近等まちづくり、公園対策、防犯対策、各種イベント、530運動など多岐にわたる
- ・区会では自主防災組織防災説明会や災害時要援護者救出支援対策や防犯パトロール、立ち上がり消火栓訓練など細かな報告や実施に向けた説明、町内ごとの地域の実情を踏まえた意見交換がされている。有事にすぐに動けるよう活発に訓練を行い体内化している。

## ◆ご意見

- ・モデル地区を作るべき。現場に継続的に参加し声を聞き信頼を深めること
- ・区町内会は災害時や防犯に対する意識が高いが、高齢者の見守り生活支援の重要性はまだ漠然としている。10年後を見据えた高齢者福祉対策の重要性を説明し、意識を高めることが先決。
- ・見守りや生活支援の対象者情報をどこまで情報共有できるかがポイント。
- ・見守り等の組織を立ち上げるには、自主防災組織立ち上げ時の戦略をヒントに。

## ◆課題

- ・区長は8割方1年で変わっていくため、担い手のメンテナンスが難しい
- ・災害時等要援護者支援制度では、阿野区は登録が現在44名であり、登録者を増やしたい。登録者の中には、公開情報が名前や緊急連絡先情報までで持病やかかりつけ医等の公開が無い場合が多いため、有事のときはまだまだ問題が多い。

# 落合みまもりたい

## ◆団体概要

- ・ 9月からスタート（月1回定例会）。11月末時点で、会員12名。
- ・ 落合区民でお互いを見守り助け合って生活するボランティアグループ。気のあったもの同士の2～3名で基本グループを構成。基本グループを地域ごとに集合させた地域集合グループにリーダーを設置し、各基本グループの連絡調整等をおこなう。

## ◆活動内容

### 見守り・生活支援

- ・ 「みまもりたいカード」の記入により、会員が開示できる必要最小限の個人情報を得たうえで、会員同士が互いに見守り、必要に応じてちょっとしたお手伝いをする。
- ・ 「落合みまもりたい新聞」を作成して配布しながらみまもり活動を実施。またこの新聞は、民生児童委員を經由し豊明市、社会福祉協議会へ報告。（11月末時点で10回実施）

## ◆今後について

- ・ 地域で生活する者同士が、互いに相手の安全等を見守っていけるような活動をエンドレスで継続していきたい。

### 落合 みまもりたい新聞 No.10 [平成26年11月28日]



**1. 第4回みまもりたい会議を開催しました。**  
第4木曜日午後開催すること致しました。第4回みまもりたい会議を昨日開催しました。私たちの会の発起人メンバーに加えて、豊明市南部地域包括センター河崎 恵子様、豊明市役所高齢者福祉課から、竹田 智規様、矢野 真由美様をお迎えして、和やかな歓談会が始められました。会議の冒頭、矢野様から「落合みまもりたい」の名称について、「みまもりたい【願望の心】と、【見守りたい様】の両方が見える素敵な命名ですね。」とお褒めのお言葉を頂きました。

発足したばかりで、余り活動の内容について、お話しする事柄はありませんでしたが、私たちが思い立った細やかな事象について、ご訪問頂いたお客様に伝える事が出来ました。豊明市では、私たちと同様に、地域でお互いに見守って行く事を目的として、地域ぐるみの先輩グループが、坂部地区、中島地区、橋狭間地区で活動を開始されているとお話を伺いました。これから先、豊明市役所高齢者福祉課の皆様のご指導ご連絡を頂きまして、老人の私達が出来る目的達成の可能性に向けて、頑張ってお参りたいと認識致しました。また、高齢社会の安心をケア・マネージャーの立場で支えていただいている、南部地域包括支援センター代表の河崎 恵子様は、私たち会員メンバーNo.00100 小倉 俊治さんが、民生児童委員にご就任されてから、地域と福祉施設の関係強化のため常に支援頂いている地域の代表者である事が解りました。私たちのグループにとって、大変心強いお話しが出来て感謝しております。ちょうど一か月前クリスマス・プレゼントを頂いたような気持ちで、15時40分頃、お話しは終了致しました。

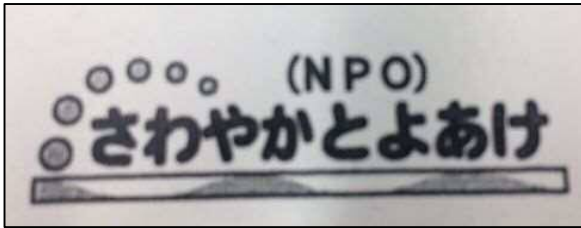
### 2. おうちにおこしサロン → 11月28日曜日の開店が楽しみです。



落合北区内にお住いの 小林様のご指導で、今日から「ヨガ術・初歩」のトレーニングが開始されました。私達のグループから、澤山様、柳原様、の若々しい代表選手が参加されて、手足を一伸ばしてトレーニングにお楽しみのご様子でありました。

以上





#### ◆団体概要

- ・平成12年3月、地域で支え合う町づくりをめざし設立
- ・訪問、通所サービスのNPO(平成22年10月、特定非営利活動法人取得)

#### ◆活動内容

##### 集い

- ・ミニデイサービス(月2回)
- ・認知症予防教室「大人の学校」(月4回)

脳トレ、レクリエーション、運動など楽しみながら参加できる内容を実施

##### 生活支援

- ・訪問サポート

家事支援、介助・介護、その他 生活をサポートする多様な内容に対応

○入会時 登録料 1,000円(初回のみ)

年会費 3,000円 (3ヶ月利用は1,500円)

○利用時 利用料 1時間900円 ※交通費等、別途負担あり

#### ◆課題

- ・担い手の人材確保
- ・利用者の増加

#### ◆今後について

- ・家事・生活支援を中心としながら、ニーズの高い、集いの場も含め幅広く活動を展開していきたい。



## ◆団体概要

- ・ 県南部地域（全 11 ブロック）大高駅にある南医療生協病院を中心とした活動
  - ・ 豊明は緑区の有松診療所を活動拠点とする緑ブロック(全 10 支部)に属する
- ★豊明南支部 組合員数 933 名   ★豊明北支部 組合員数 843 名

## ◆活動内容

### 見守り

- ・ 約 90 名の「世話人」が、組合員の住む地区を地図上で分かるマップを作成し、毎月、近所の会員に「健康の友」手配り配布しながら見守り活動を行う。
- （「健康の友」配布率・・・97%）

### 集い

- ・ 「班会」・・・組合員同士が自宅や等で開催。体操、茶話会、知識を学ぶ場。
  - ・ 「たまり場」・・・地域の人々が楽しく出会い、気軽に交流する場。
- 例) 有松診療所立ち寄り喫茶「リアン」毎週月・金実施

### 生活支援

- ・ 病院・診療所・介護事業所等から在宅に戻る際に「ささえあいシート」を配布。会員が、入院生活から在宅生活に戻る際に、生活支援に関する「お助けメッセージ」発信できるようにしている。これに基づき、会員同士で生活を支える。

## ◆その他

- ・ 膝の元気講座や血液サラサラ講座・・・2 ヶ月に 1 回、前後駅コープで実施。
- ・ 「まちづくり交流会」・・・地域住民、企業、行政との繋がりを深める交流会。

## ◆課題

- ・ 豊明支部での「集い」に関する活動やささえあいシートによる活動を増やしたい。開催場所の確保に苦戦している。

## 生活協同組合コープあいち 門谷さん,谷口さん «ヒアリング NO.8»



### ◆団体概要

- ・豊明市の生協組合加入率は県内トップ（48.8%）  
→27000世帯中13000世帯の登録数

### ◆活動内容

#### 見守り

- ・宅配事業 豊明市内1,492名
- ・配食事業（夕食宅配）豊明市内40名

※配達時、声かけや見守りなどの安否確認等を行う。

#### 集い

- ・高齢者サロン活動

#### 生活支援

- ・有償ボランティアによるくらしたすけあいの会※ 協力会員 5名

※地域で安心して暮らせるよう、困ったときはお互いさまで支えあう活動  
家事支援など

利用会員・・・年会費 1,000 円以上、1 時間 800 円+交通費支払い

協力会員・・・年会費 1,000 円以上、1 時間 650 円+交通費受取り

賛助会員・・・年会費 1,000 円以上

### ◆課題

- ・高齢者サロン活動の豊明市内実績がない。
- ・有償ボランティアの協力会員（担い手）が少ない。

### ◆今後について

- ・市との見守り協定により支援体制の充実・強化を図るとともに、民間とも協働して支援体制を構築したい。

# みかんの会

## ◆団体概要

- ・あいち介護予防センターの健康づくりリーダー資格を有するメンバー等が、健康体操などを地域で伝えている。

## ◆活動内容

### 集 い

- ・地域サロン等、健康づくり事業の参加と支援  
体力測定（握力・開眼片足立ち・10m 歩行 等）、運動指導など
- ・あいち健康プラザでの事業補助(体力測定等)
- ・県健康づくりリーダー協議会主催事業参加

## ◆課題

- ・イベント的な体操実施では、参加者の体操習慣化につなげるのが難しい。

## ◆今後について

- ・地域で体操のニーズを取りこぼさないように、サロンにつなげたい。  
そのためには、地域の体操をしたい声が出る地域に出向き、きっかけ作りをして活動を始めてもらいたい。



## とよあけ健康づくりの会

### ◆団体概要

- ・愛知県健康づくり振興事業団、豊明市運動普及推進員としての研修受講メンバーにより設立。12名で活動（60代中心）
- ・会員相互に協力し、明るくより良いスポーツ交流を行い、豊明市民の健康づくりに協力することを目的とする

### ◆活動内容

#### 集 い

- ・地域サロン、ミニデイサービス等、健康づくり事業への参加と支援  
各種体操、ストレッチ、筋力トレーニング など
- ・年間各団体（20団体ほどに）向けに定期的実施。

### ◆課題

- ・担い手が不足している

### ◆今後について

- ・活動場所を広げていきたい。



# けやきの会



## ◆団体概要

- ・助け合いとふれあいの輪を広め、ともに生きる地域づくりに貢献することを目的として活動している。
- ・平成10年～、会員70名（60歳代）、けやきの森活動日（月、水、金）  
協力会員2,000円/年 賛助会員1,000円/年

## ◆活動内容

### 集 い

- ・ミニデイサービス（6箇所、各々月1回）  
健康づくり体操、音読、茶話会、季節の食材を使った料理の提供 等
- ・全体交流会（年に1度、各ミニデイが文化会館へ集まりホールで発表）
- ・地域ふれあいサロン（青い鳥けやきの森で、手作りモーニング・ランチの提供）

## ◆その他

- ・地産地消への取組みと高齢者の地域参加  
けやき農園の運営による男性就労支援（収穫した野菜をミニデイで調理）  
保育園・小学校でのおこしものづくり、世代間交流 等
- ・転倒予防教室（健康維持のための軽運動と季節の行事）
- ・食育活動（献立作りから考え、買物、料理、食事、片付までを通じ活動）

## ◆課題

- ・次世代のリーダー発掘が必要

## ◆今後について

- ・ミニデイは月1で100人弱の利用があるが、回数を増やしたい。
- ・地域サロン等で、会場で食事の提供なども考えていきたい。

## 地域交流館 いつみ

### ◆団体概要

- ・（株）逸美の作業場にて交流会やイベント等実施している。
- ・中心となり活動しているメンバーは2人。当日の運営等は参加者が協力しすすめている。
- ・豊明福社会「メイツ」との協力による実施事業あり。

### ◆活動内容

#### 集 い

- ・いつでも立ち寄れる居場所づくり  
不定期で、多世代が立ち寄り交流できる地元密着型サロン
- ・定期的にイベントを開催・・・参加者80～100名  
内容：演奏会（隔月）、手工芸の作品展（隔月） 等  
周知：中日新聞、中日ホームニュース、CCnet、ショッパー等  
メディアを活用したPR



### ◆今後について

- ・現状は、2人で無理なく運営できる範囲で活動展開。
- ・今後もう少し活動を広げるためには、同じ思いで取り組める仲間が必要
- ・会場となる作業場は、利用していない時は貸し出しも可能。

## 坂部生活支援ボランティア見守り隊・お助け隊

### ◆団体概要

- ・平成24年4月に設立。「助け合いの誠心で住み良い暮らし易い坂部区にすること」を目的としている。
- ・坂部区民による坂部区民のための地域密着型団体
- ・活動は、平均週1回程度、メンバーは30～40名程度（平均75歳）

### ◆活動内容

#### 見守り（見守り隊）

- ・週1で担当の独居高齢者宅へ声掛け

#### 生活支援（お助け隊）

草取り、剪定、電球・蛍光灯の取替、ゴミ出し（資源ゴミは除く）、家具・電化製品の移動、買物同行、病院付添い等1時間程度の軽作業



### ◆その他

- ・豊明市市民協働課「市民提案型まちづくり事業」15万円の交付金
- ・豊明市社会福祉協議会「支えあいまちづくり事業助成事業」2万円助成

### ◆課題

- ・継続活動をするための人材育成、メンバーの若返り、活動費の確保

### ◆今後について

- ・区と連携し、活動費の補助やメンバー募集等、どのように支援していくか区内で相談している。区とNPOで役割分担しながら、活動継続を考える
- ・活動を豊明市全域に広げたい。各区で同じような事業が立ち上がってほしいと考えている。



## 桶狭間生活支援見守り隊



### ◆団体概要

- ・平成26年10月からスタート。メンバー13名。
- ・身の回りの作業が困難で日常生活に支障がある家庭を、助け合いの精神で支援し、桶狭間区民の生活環境向上に資することが目的。そのため、桶狭間区に住む高齢者の家庭内、敷地内に限定した支援を活動範囲とする。
- ・規約や入退会、保険、日常訪問の手順、支援要請や作業請負の手順書等を整え、活動を始めやすい環境を整理している。

### ◆活動内容

#### 見守り

- ・高齢者世帯（一人暮らし、体の不自由な方優先で）に見守り・声掛け  
各町内へ2人で日常訪問
- ・活動の案内を桶狭間区民に配布し、毎月1回定例会を行っている。

#### 生活支援

- ・庭木の剪定、草取り、家具電化製品の配置換え等、1時間以内の支援活動

### ◆その他

- ・社会福祉協議会「支えあいまちづくり助成金」（10万円）を受け活動開始  
2月に市民協働課「市民提案型まちづくり事業」15万円の助成金申請予定  
会員には、ボランティアポイント制度利用

### ◆課題

- ・組織が大きくなった場合も、会員が同じ意識で活動を続けること

### ◆今後について

- ・困っている人が、安心して支援の声をあげられるような環境を作りたい

## こまの会



### ◆団体概要

- ・食を通して心とからだの健康づくりの輪を広げる。
- ・こまの会…高齢者を対象に介護予防に関する食生活の知識を普及啓発する  
会員40名（実動30名弱）
- ・設立は昭和48年、年会費2000円、入会は養成講座修了者
- ・定例会…毎月1回テーマに応じた献立、調理実習、勉強会、ミーティング

### ◆活動内容

#### 集い

- ・市内各地域のつどいの場、市や社会福祉協議会が実施する教室等で、  
高齢者を対象に介護予防に関する食生活の知識を普及、啓発活動を実施
- ・H26年度テーマは「バランスのよい食事+片手いっぱい野菜を取ろう」

### ◆課題

- ・口腔ケアの歯科医師や歯科衛生士とタイアップして市が関わっていく
- ・簡単な食事の提供できる設備のある施設がほとんどない

### ◆今後について

- ・今年度13団体で実施、より多くの高齢者が参加できるようにするために  
食生活改善推進員の増加が必要



・・・さいごに・・・

本日、この会議に集まってくださった方は、現場の第一線で、地域住民のよりよい暮らしのために日々活動されています。そしてまた、その活動の大変さも経験し、その度に議論を重ね乗り越えて継続されていることと思います。

ヒアリングを通して、これまでのみなさんの豊富な経験によるアイデアやノウハウが、今後、地域での見守りや生活支援を拡充していくための大きなヒントになると確信しました。そしてまた、各活動団体同士の連携強化を図ることが、地域全体での取り組みを強化していく足がかりになると期待しています。

地域を良くしたい、暮らしを助けたい、人との交流で笑顔になってくれたら嬉しい、という思いは皆さん同じです。だからこそ、これから、歩み寄り、支えあいながら一緒に考えていきたいと思えます。

**H27.1.27**